

事業名	女性セミナー いきいき子育てルーム				
予算	歳入予算 (円)	歳入実績 (円)	歳出予算 (円)	歳出実績 (円)	
令和2年度			報償費336,600 需用費(女性セミナー 全体で)10,000	報償費 233,100 需用費 0	
令和3年度			報償費339,480 需用費(女性セミナー 全体で)10,000	報償費 228,450 需用費 8,415	
事業の位置付け	根拠法	社会教育法、狛江市立公民館条例、狛江市立公民館条例施行規則			
	市の基本計画	狛江市前期基本計画 まちの姿4「子どもがのびのびと育つまち」 施策4-①「地域社会で支える子育て」方向性1「地域のなかでゆるくつながる仕組みづくり」 まちの姿6「生涯を通じて学び、歴史が身近に感じられるまち」 施策6-①「地域における学びの充実」方向性2「生涯を通じた学びの実現」 第3期狛江市教育振興基本計画 基本方針(4)生涯を通じた学びの充実 ①学びの環境づくり「地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図ります。」			
事業目的	子育てで家に閉じこもりがちなる保護者に、参加者同士の交流と情報交換の機会を持ってもらい、悩みの相談を指導者に行える場として開催している。		持続可能な開発目標 (SDGs)		
事業内容	開催頻度	年間41回 毎週金曜日 午前10時～11時30分			
	新規・継続	継続	実施主体	市	
	実施対象	乳幼児とその保護者	参加者数	延420人	
事業評価 ＜評価視点＞	評価項目	評価理由		評価	
	＜周知＞ 市民に周知されているか	年一回の広報こまめ掲載や館内ポスター掲示、また、西河原公民館の外掲示板に掲示をしている。コンスタントに参加者がいるので周知されていると考えられる。		公民館 B	公運審 B
				全体 B	
	＜環境＞ 事業の実施に伴い、人員、設備、衛生面等は適切であるか	実施場所は西河原公民館幼児室。参加者は平均5組で、それを指導者2人で対応しており、個々の相談など含め手厚く対応できている。新型コロナの対応としては、消毒・検温の徹底や、晴天時に公園を散歩したり、動き回る年・月齢の子が参加する場合は、大きな部屋を使用したりして、密を避けて行った。		公民館 A	公運審 A
				全体 A	
	＜満足度＞ 参加者にとって満足のいく内容であったか 利用者のニーズを反映できているか	参加者の相談に個別に対応できており、リピーターも多くいるため、満足度の高い事業となっていると考えられる。		公民館 A	公運審 A
				全体 A	
＜達成度＞ 公民館が目的を達成できたか 市の課題解決に役立っているか	参加者同士で連絡先の交換などを行っている様子が同え、仲間づくりが出来ていると考えられる。また、親しくなった参加者同士で子育てに関する情報共有をしているなど、本事業をきっかけに良い場が提供できていると言える。		公民館 A	公運審 A	
			全体 A		
＜居場所＞ 参加者の居場所となっているか	新型コロナにより、予約制を導入したが、継続的に参加者が一定数いたことから、ニーズがあり参加者の居場所となっていると考えられる。		公民館 A	公運審 A	
			全体 A		
今後の課題	▼コロナ禍において、今後のクリスマス会等のイベントをどのように行うべきか、また再び感染が拡大した場合に、予約制に戻すかどうか等について検討する。 ▼アンケートで午後の実施を臨む意見が複数あったため、時間区分について改めて検討する。 ▼参加者の紹介だけでなく、広報こまめやSNS等でもっと周知を図り、新規参加者を増やす。 ▼子育て世帯の男性も参加しやすくなるような周知方法や環境づくりを検討する。				
総合評価	▼一人での育児は孤独や不安に陥りやすく、本事業を通じて、誰かとつながっているという気持ちになることで、保護者の孤独や不安を少しでも和らげる意義のある事業だと考えられる。そのためにもできる限り気軽に参加できるような環境(予約不要等)を継続して提供していただきたい。				